

HiKOKI

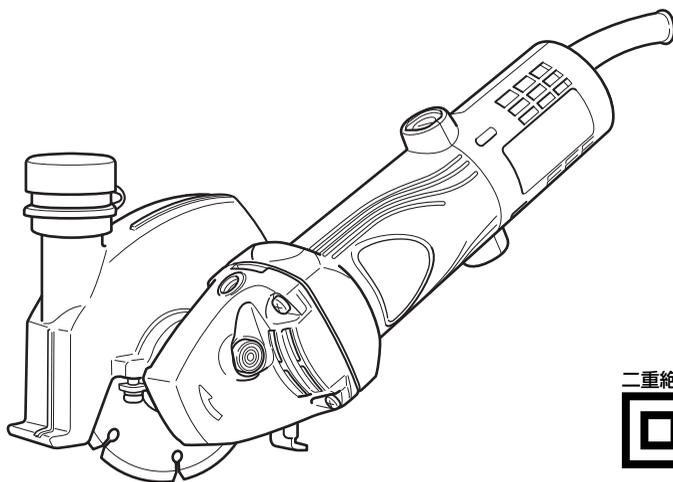
カッタ

105 mm **CM 4YA**

125 mm **CM 5YA**

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みにになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
カッタの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕様	8
標準付属品	8
別売部品	9
用途	10
作業前の準備	11
ご使用前に	12
切り方	14
集じん機の取付け方・使い方	16
保守・点検	17
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
 - 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

警告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には "回" マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

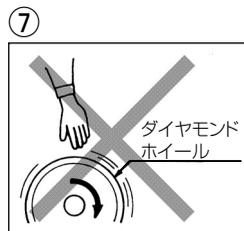
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

カッタの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、カッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

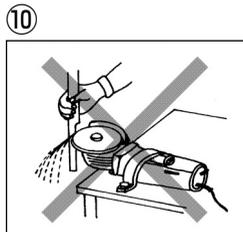
⚠警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると、ダイヤモンドホイールが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ **集じんアダプタ（ダイヤ用）またはホイールガードは、必ず取付けて使用してください。**
ダイヤモンドホイールが破損したとき、けがの原因になります。
- ④ **ダイヤモンドホイールにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
異常があると、ダイヤモンドホイールが破損し、けがの原因になります。
- ⑤ **ダイヤモンドホイールで金属の切断をしないでください。**
金属の切断をすると過熱して寿命を著しく短くし、また、破損し、けがの原因になります。
- ⑥ **使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。とくに始動時は気をつけてください。**
サイドハンドルを付属している場合は、サイドハンドルをしっかりと取付けてください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑦ **使用中は、ダイヤモンドホイールや回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑧ **切断途中でダイヤモンドホイールを回転させたまま本体を戻さないでください。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。**
強い反発力が生じ、けがの原因になります。



⚠警告

- ⑨ 水、研削液などは使用しないでください。
乾式用のため、感電の恐れがあります。
- ⑩ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
ダイヤモンドホイールが破損したとき、けがの原因になります。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ダイヤモンドホイールや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



⚠注意

- ① ダイヤモンドホイールや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用前に、ホース取付口に集じん機のホースを確実に取付けてください。
ホースを取付けないで使用される場合は、ダストキャップを確実に取付けてください。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、人のいない方向にダイヤモンドホイールを向けて空転させ、機体の振動やダイヤモンドホイールの面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると、けがの原因になります。
- ⑤ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
強い反発力が生じ、けがの原因になります。

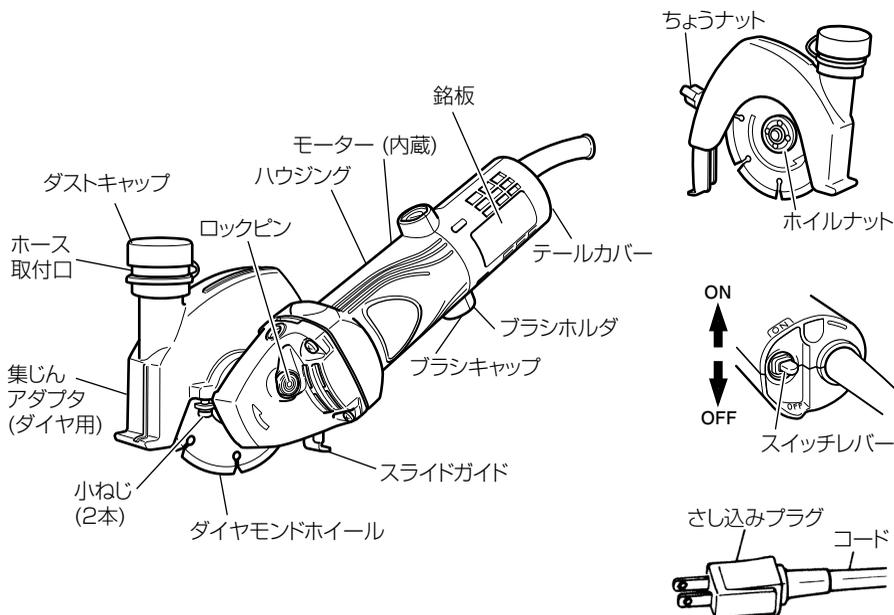
⚠注意

- ⑥ 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑦ 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乘せたまま作業しないでください。
手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑧ 回転するダイヤモンドホイールで、コードを切断しないよう注意してください。
感電の恐れがあります。
- ⑨ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑩ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

⑨



各部の名称



仕 様

項 目	CM 4YA	CM 5YA	
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V		
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター		
全 負 荷 電 流	7.4 A		
消 費 電 力	720 W		
無 負 荷 回 転 数	9,000 min ⁻¹ {回 / 分}		
ダイヤモンド ホイール寸法	外径	105 mm	125 mm
	厚さ	1.8 mm	1.8 mm
	穴径	20 mm	22 mm
切 込 み 深 さ	0 ~ 23 mm	5 ~ 33 mm	
質 量 (コードを除く)	1.7 kg	1.9 kg	
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 5 m		

標準付属品



① ダイヤモンドホイール (セグメントタイプ) 1 枚

(CM 4YA : 外径 105 mm × 厚さ 1.8 mm × 穴径 20 mm)
(CM 5YA : 外径 125 mm × 厚さ 1.8 mm × 穴径 22 mm)

② スパダ 1 個

③ 集じんアダプタ (ダイヤ用) 1 個

④ ホイルワッシャ (ダイヤ用) 1 個

⑤ ホイルナット 1 個

⑥ サイドハンドル (CM 5YA のみ) 1 個

別売部品 …………… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

作業に適した別売部品をお選びください。取付け方法は 12、16 ページをご参照ください。

CM 4YA

1. ダイヤモンドホイール (乾式用)



①



②



③

形状	寸法 (mm)		
	外径	厚さ	穴径
① セグメント (低騒音)	105	2.1	20
② 波形セグメント (低騒音)	106	2.1	20
③ V 字形	90	10	20

○ カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの溝入れおよび研削などに用います。

2. スーパーワッシャ



○ 重負荷作業や、長時間作業などでホイールナットが締めすぎた場合、従来のホイールワッシャよりも低いトルクでホイールナットを緩めることが可能です。

3. サイドハンドル



4. ストップカーボン



(2 コ箱入り)

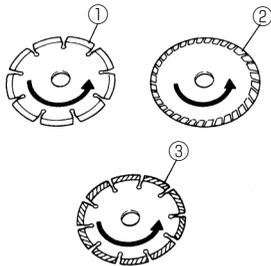
○ カーボンブラシの長さが摩耗限度になりますと、自動的に電流がしや断されモーターが停止するため、コンミの面を荒さずに、モーターが長持ちします。

5. 電動工具用集じん機

この機体は、別売部品の集じんアダプタを取付けることで、電動工具用集じん機に接続して使用することができます。
お買い求めの販売店にご相談ください。

CM 5YA

1. ダイヤモンドホイール (乾式用)



形状	寸法 (mm)		
	外径	厚さ	穴径
① セグメント	125	2	22
② 波 形	125	2.1	22
③ 波形セグメント	125	2	22

○ カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの溝入れに用います。

2. スーパーワッシャ



○ 重負荷作業や、長時間作業などでホイールナットが締めすぎた場合、従来のホイールワッシャよりも低いトルクでホイールナットを緩めることが可能です。

3. ストップカーボン



○ カーボンブラシの長さが摩耗限度になりますと、自動的に電流がしゃ断されモーターが停止するため、コンミの面を荒さずに、モーターが長持ちします。

4. 電動工具用集じん機

この機体は、別売部品の集じんアダプタを取付けることで、電動工具用集じん機に接続して使用することができます。
お買い求めの販売店にご相談ください。

用 途

用 途	使用する別売部品
コンクリート、各種かわら、各種タイル、各種石材の切断・すじつけ	ダイヤモンドホイール (乾式用)

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ（延長）コード……………



警告

● 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源がはなれているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ（延長）コードをできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	15 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

左の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～6項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、ダイヤモンドホイールや機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチはスイッチレバー（7ページの図参照）をON側に倒すと入り、OFF側に倒すと切れます。

スイッチレバーがOFF側になっていることを必ず確認してください。

3. ダストキャップの確認……………

ダストキャップ（7ページの図参照）は集じんアダプタ（ダイヤ用）に集じん機用のホースを取付けない場合粉じんの飛散を防止するための部品です。

集じん機用のホースを取付けない場合は必ずダストキャップを集じんアダプタ（ダイヤ用）のホース取付口に確実に取付けて使用してください。

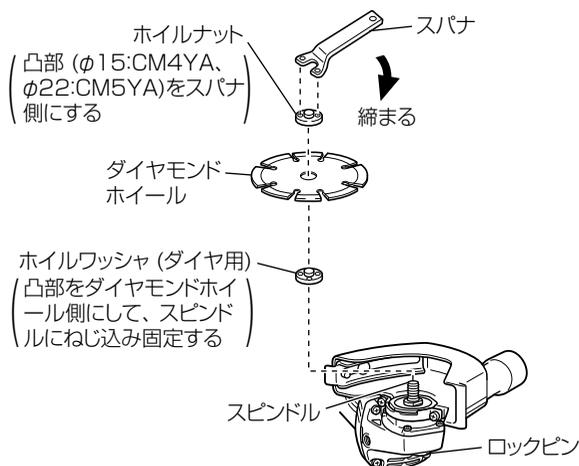
4. ダイヤモンドホイールの取付け・取りはずし……………

警告

- ダイヤモンドホイールは当社指定のものを使用してください。
- 使用前に、必ずダイヤモンドホイールにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。

(1) 取付け方

- (a) スピンドルを上に向け、ホイルワッシャ（ダイヤモンド用）の凸部をダイヤモンドホイール側にして、ホイルワッシャ（ダイヤモンド用）をスピンドルに取付けます。
- (b) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルワッシャ（ダイヤモンド用）を十分に締付けます。
- (c) ダイヤモンドホイールを機体の回転方向に合わせて取付けます。
- (d) ホイルナットの凸部（ $\phi 15$:CM 4YA、 $\phi 22$:CM 5YA）をスパナ側にして、ホイルナットをスピンドルに取付けます。
- (e) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



(2) 取りはずし方

取付け方と逆の手順で取りはずします。

5. ロックピンの確認……………

ロックピン（7ページの図参照）を押して、はなしたときに確実に戻ることを確認してください。

6. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

7. 試運転を行なう…………

⚠注意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、ダイヤモンドホイールが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいダイヤモンドホイールを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、ダイヤモンドホイールの露出部から必ず一時身体を避けてください。

ダイヤモンドホイールにヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。けがの原因になります。

作業前には人のいない方向にダイヤモンドホイールを向け、必ず試運転を行なって異常がないことを確認してください。

試運転時間は

ダイヤモンドホイールを交換したとき ————— 3分間以上
その日の作業始めのとき ————— 1分間以上です。

切り方

⚠警告

- 使用中、ダイヤモンドホイールが止まったり、異音を発したときなどには直ちにスイッチを切ってください。
- 切断中に本機をこじったり、強く押しすぎると反発力を受け、けがの原因になります。まっすぐに静かに進めるようにしてください。
- 使用前に、必ずダイヤモンドホイールを点検してください。
ヒビ、割れ、曲りがある場合は使用しないでください。
- ジグザグ切断、曲線切り、側面使用、傾斜切断などには使用しないでください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。
- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
集じんアダプタ（ダイヤ用）は、必ず取付けて使用してください。
ダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。
集じんアダプタ（ダイヤ用）は、ダイヤモンドホイール専用です。
ダイヤモンドホイール以外を取付けしないでください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。
- 機体に衝撃をかけるとダイヤモンドホイールにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。
万一機体を誤ってぶつかけたり、落としたりしたときは、必ずダイヤモンドホイールのヒビ割れや、機体に破損などが無いことを十分確認してください。

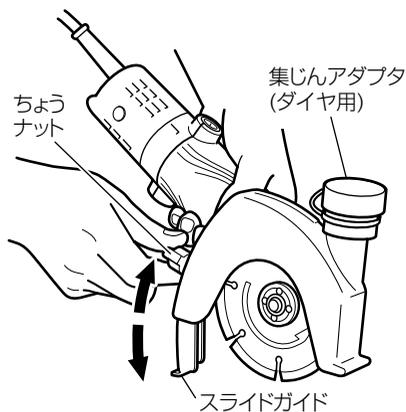
⚠ 注意

- 回転するダイヤモンドホイールでコードを切断しないよう注意してください。

- 注**
- 切断を始める前にダイヤモンドホイールの回転が全速回転になるようにしてください。
 - モーターが回転中には、ロックピンを押さないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。
 - ダイヤモンドホイール使用時、モーター故障の原因になるので、1回の切込み量は5mm以下にしてください。また、送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。

1. 切込み量の調整

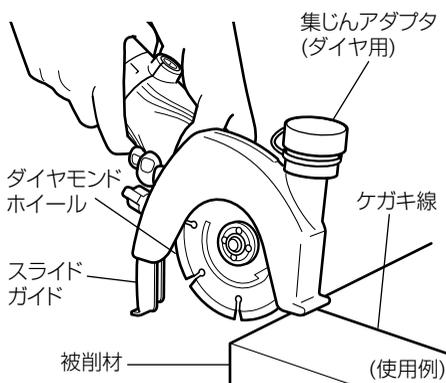
集じんアダプタ(ダイヤ用)のちようナットをゆるめて、切込み量を調整します。



- ### 2. 被削材の上に本体(集じんアダプタ(ダイヤ用))をのせ、ケガキ線とダイヤモンドホイールの位置を合わせます…………

- ### 3. ダイヤモンドホイールが被削材に触れない状態でスイッチをいれます…………

- 注**
- 上図の使用例のように切断始めの場合、加工材の端面にスライドガイドを引っ掛けないように注意してください。



4. スwitchの操作

スイッチはスイッチレバー(7ページの図参照)をON側に倒すと入り、OFF側に倒すと切れます。

5. 使用直後の注意

使用後はスイッチを切って、ダイヤモンドホイールの回転が止まってから機体を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがあります。機体の寿命、事故の原因となりますのでご注意ください。

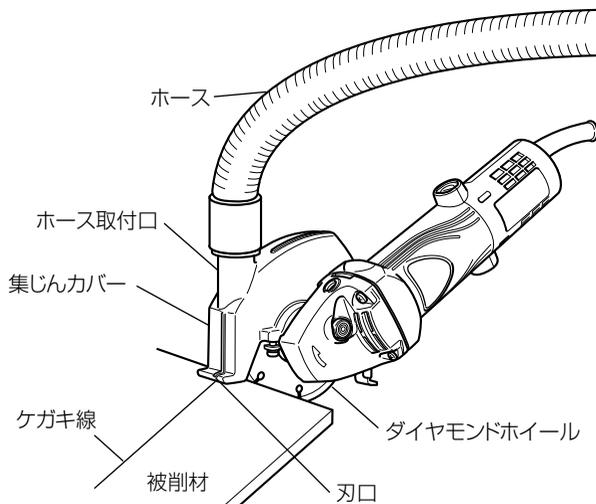
6. 押しつけ力

ダイヤモンドホイールは材料に強く押しつけないでください。材料に軽くあてる程度に保持してください。

強く押しつけると回転が落ち仕上げ面がきたなくなります。また過負荷になってモーターを故障する原因になります。

集じん機の取付け方・使い方 ……………(別売品)

本機に別売品の電動工具集じん機に接続してご使用されることを推奨します。切断粉が飛散しにくくなります。



1. 集じんアダプタ(ダイヤ用)のホース取付口にあるダストキャップを取外し、なくさないように保管してください。集じん機を接続しないで作業する際に、粉じんの飛散を防止するために必要です。
2. 集じんアダプタ(ダイヤ用)のホース取付口に、電動工具用集じん機のホースを取付けます。
3. 被削材の上に集じんアダプタ(ダイヤ用)をのせ、ケガキ線とダイヤモンドホイールの位置を合わせ、刃口が開かないようにして切断します。

保守・点検

⚠ 警告

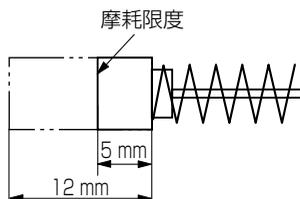
- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いておいてください。

1. 各部取付けねじの点検……………

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。
ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

2. カーボンブラシの点検……………

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。
カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。



また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 •新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(7ページも図参照)をはずすと取出せます。

3. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 •モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。
50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気の少ない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。
ごみやほこりの排出に効果があります。

4. 表面のよごれの清掃……………

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

5. 機体や付属品の保管……………

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>